



第36号
2015年8月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井 3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>

Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

外来診療時間	
月～金	9:00 ~ 12:00 15:30 ~ 18:30
土	9:00 ~ 12:00

<中谷外科病院 基本方針>

- I :常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I :消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I :多職種間によるチーム医療の充実をはかる。
- I :在宅復帰を支援し、社会に開かれた地域医療を行う。
- I :職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

ご挨拶



残暑お見舞い申し上げます。
 蝉時雨の季節。平成27年8月1日、中谷外科病院は満49歳になりました。あと1年で開院後半世紀になるのかと思うと、感慨深いものがあります。
 まずもって長きにわたり当院を支えてくれた皆様方に、心より感謝いたします。
 少子高齢化が進み、医療制度がめまぐるしく変わる昨今ですが、私たち中谷外科病院スタッフは、今をそして一日一日を大切に、患者様とともに前を向いて歩んでまいります。地域医療と専門医療という二つの柱を持つ当院は、地域のために自分たちに出来ることは何か、常に自問自答し、また安心・安全な最新の内視鏡検査・肛門手術により、皆様方のお役に立てるよう日々努力してまいります。引き続き、叱咤・激励いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年8月吉日 院長 中谷 紳

ゆびきりげんまん

毎朝、患者様に挨拶に伺っている。患者様と直接接することで、スタッフからの報告とは、また違った患者様像を知ることが出来る。
 入院時より食事摂取出来ず、「どうせ死ぬじゃ。早く夫の元へ行きたい。」等、否定的な言葉しか言われなかったAさん。いわゆる拒食状態であった。そんなAさんに、スタッフは対応に苦慮していた。
 ある日、「家に帰りたい」と言う前向きな発語があったので、早速訪室し、話を伺うことにした。

「家に帰りたい。家に帰ったらごはんを食べる。点滴をやめてほしい。」
 そこで私は、次の様な提案をさせて頂いた。
 「病院で1週間お食事を召し上げて頂く事。好きな麺類を栄養士と相談して、提供させて頂くこと。この1週間の約束が守れたら、医師に上申し、点滴は止めて貰うこと。」

Aさんはうなずき、手を差し出された。
 握手をし、その後、ゆびきりをした。「ゆびきりげんまん」
 明日で期限の1週間が来る。食事摂取表には10割～5割近い数字が並んでいる。それまでの0行進がうその様である。点滴が外れる日も近い。この間、ご家族の協力があり、スタッフの頑張りもあった。在宅復帰に向かってこれからがスタートと思っている。

「看護とは何か」と自問自答し、日々多忙な中で自分を見失っていくことがある。業務中心になって、「患者様に寄り添う心」を見失うことがある。
 Aさんとの「ゆびきりげんまん」忘れないでいたいと思う。
 49歳になった中谷外科病院で患者様、そのご家族、スタッフに支えられて、看護をさせて頂けることに感謝申し上げます。

平成27年8月 看護師長 新田 照美

手術と内視鏡検査数の増加

今年度に入り、私たちの病院では手術と内視鏡件数が増加傾向にあります。
 手術日（月・火）は1ヶ月先まで予約一杯という状況です。内視鏡は先日総件数3万例を突破し、無事故で毎日検査を提供させていただいています。
 手術に関しては、お尻の病気や脱腸になる人が急に増えたとは考えにくいので、4月に岡山大学からの派遣医が朝から丸一日勤務となり、手術の計画を立てやすくなったことが件数増加の要因と思います。
 内視鏡はチクバ外科からの応援を受け、3人の専門医が検査にあたることで患者様に安定して内視鏡検査を行うことができるようになりました。
 口コミを中心に、多くの患者様にお越しいただいています。本当に有り難いことです。
 私もスタッフも肉体的にはハードですが、病院に活気が出てきました。
 手術や内視鏡をさせて頂けることに感謝し、自分の学んできた知識や技術を少しでも多くの患者さんに提供できるよう頑張っていきたいと思っています。

院長 中谷 紳



院内勉強会

褥瘡委員会(定期)勉強会

テーマ：褥瘡のいろは **大人気!!!**
 日時：H27年7月30日(木)13時から
 対象：看護師、その他コメディカル
 講師：褥瘡認定看護師 三宅 隆子
 内容：スライドによる褥瘡の解説。
 日々の看護記録にDESIGN-Rを活用
 評価日のみでなく、アセスメント
 実施を行うよう提案、指導。

院内感染委員会

テーマ：食中毒の予防 
 日時：H27年5月27日(水)14時から
 対象：全職員
 講師：管理栄養士 松本 英子
 内容：食中毒の発生状況と予防方法
 厨房での衛生対策（手洗いの励行、手袋の使用、洗剤・消毒剤・調理器具の使い分け、加熱食品の中心温度測定など）を他職種へ紹介。また発生件数の多いカンピロバクターの特徴、予防方法について講演。

医療安全委員会・看護部合同勉強会

テーマ：医療安全とハイリスク検査 
 日時：H27年6月24日(水)13時50分から
 対象：看護師・その他コメディカル
 講師：内視鏡技師 今井 幸子
 内容：内視鏡専門病院として安全で専門性の高い医療提供していくための定期勉強会。
 ピロリ菌の検査から除菌方法。除菌中の薬の副作用。検査時の内服薬の確認の必要性等。

医療安全委員会勉強会

テーマ：救命救急 
 日時：H27年7月29日(木)14時から
 対象：全職員
 講師：玉野市消防署
 2グループに分けて勉強会
 ①医師・看護師
 災害時のトリアージの方法。
 トリアージタグ(東京都)を用い、
 実際の使用方法、記載方法。
 ②その他コメディカル
 心臓マッサージの方法とAEDの使用

退院時アンケート

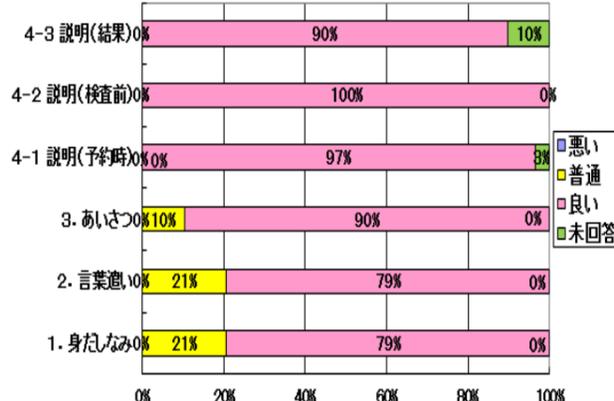
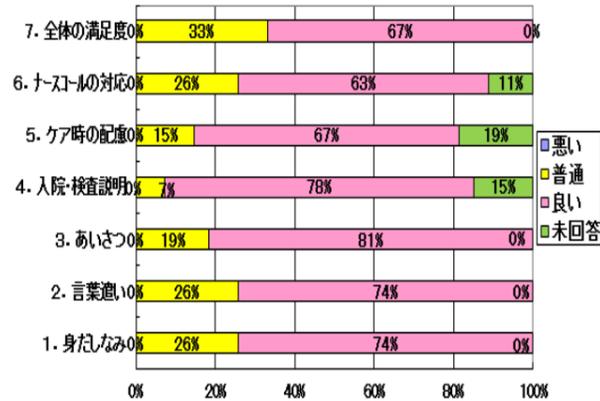
当院では患者様にご満足頂ける病院を目指して、H25.5より患者サービス向上委員会を中心となり、入院患者様対象に退院時アンケートを行っています。毎月約50人（回収率：70%）の患者様から貴重なご意見をうかがっています。

H27.4からは、より具体的な改善策が見いだせるよう、『内視鏡検査入院用』『一般入院用』にアンケートをわけ、内容の見直しを行いました。

結果や改善策については、掲示板や待合室、談話室等に設置している結果報告書のファイルにてご覧下さい。今後も皆様から頂いた貴重なご意見を元に、環境、接遇等改善していきたく思いますので、ご協力お願い致します。

H27.7 一般入院用

H27.7 内視鏡検査入院用



地域包括ケア病床開設

当院では平成27年6月1日より『地域包括ケア病床』を10床設けました。在宅や介護施設復帰に向け、患者様やご家族様と一緒に、退院後の生活を考えるお手伝いをさせていただきます。

地域包括ケア病床とは・・・

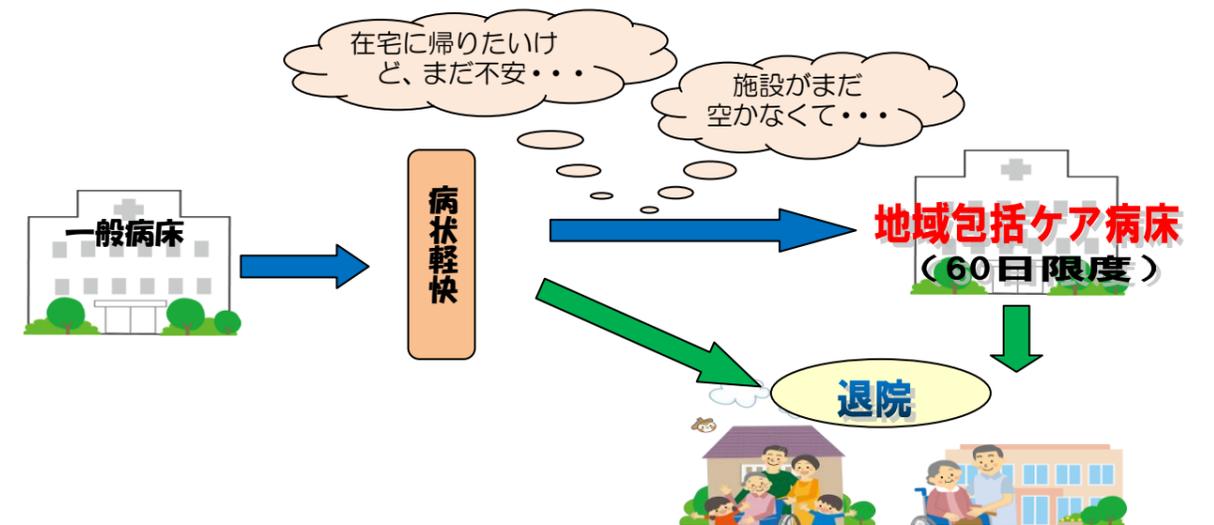
入院治療後、病状が安定した患者様に対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病床です。（大部屋3室、個室1室）

入室後の費用は・・・

入院費（医療保険内）は定額となっており、入院基本料、投薬料、処置料、検査料、必要に応じてリハビリテーション料等の費用が含まれております。

入室期間・・・

入室期間は60日が限度となっています。ただし病状の変化のため、主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、一般病床に変更することがあります。



新人紹介

看護助手：細川 咲



- Q. 好きな言葉は？
A. 『ありがとう』
ささいな事でも「ありがとう」と言ってくれたら、うれしい
- Q. 趣味は？
A. ドライブ
音楽を聴くこと

まだ入って約1ヶ月になりますが、精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。

看護助手：三宅 光



- Q. 好きな食べ物？
A. とうもろこし
- Q. 趣味は？
A. 映画鑑賞
読書
- Q. 看護助手への就職を決めた理由
A. 看護師として何年も働いている母の姿をみていて、興味があったからです。

～スタッフのひとりごと～ 『修行じゃ～』

あるツアーに参加したとき、昼食の場所が坂の上でした。登り切らないと食べられないので、文句を言いながら歩いていると、後ろから来たおじさんが「これも修行じゃ」と大声で言っていました。

これぐらいで修行か？と笑えたのですが、結構耳に残っていて、落ち込んだときでも、「修行じゃ」とつぶやくと、何となく乗り切れる感じがします。

自分なりの元気のける魔法の言葉で、今後もしっかり活用していきたいです。（看護師 赤松 育代）



チーム『特別養護老人ホームいこい荘』として参加しました。（8月1日）